国土交通省

No.79 さきちゃんだより

立谷沢川砂防出張所

発行：新庄河川事務所　立谷沢川砂防出張所　　平成29年10月

「見て！ふれて！学ぼう　土砂災害」を開催し、砂防事業をPRさせて頂きました

月山龍神マラソンの様子

開会式



事務所長からの激励



職員も参加させて頂きました

マラソンスタート



カオナシも‼

給水・グルメスポット



庄内の秋の味覚を味わいながら、完走を目指します！

表彰式



イベントの様子

もっこ担ぎ



80年前人力で行われていた砂防工事の作業にLet' チャレンジ！



ヤバ！おもっ！

痛いから、いっそ肩に掛けない方がいいのかも･･･

いえいえ、それでは仕事になりません





当時の人は肩にこぶができていたんだよ

土砂災害を模型を使って実験！







砂防堰堤（さぼうえんてい）がないと、土石流で家が流されてしまうんだよ



アンケートのご協力、ありがとうございました



立谷沢川ドローン撮影動画放映



懐かしいなぁ･･･昔、月山上流の濁沢（にごりさわ）に遠足に行ったんだ･･･





月山ジオパークのツアーガイド養成講座の講師をされている方に、月山の成り立ち・立谷沢川・平成23年に大崩壊した状況・地質について等、お話を伺いました。

展示の内容について、『いかがでしたか？』とアンケートをさせて頂くと、『興味をもった』『分わかりやすかった』とのたくさんの回答を頂きました。他にも･･･

＊災害の対策についてわかりやすくなっていた。（鶴岡市の小学生女児）

＊くわしくて興味を持った。（鶴岡市の小学生女児）

＊興味を持とうとおもった。（鶴岡市の小学生女児）

と、貴重な感想を頂きました。

今回新たに展示に加えた、80年前の砂防工事の体験や立谷沢川の映像に興味を持って頂き、うれしく思っております。次回は何を展示しようかなぁ･･･わくわく･･･

「まるごと里ごとハザードマップ」

土砂災害に備えていますか？

～庄内町木の沢地区の取り組み～



平成29年7月に九州北部で豪雨災害が発生しました。大きな被害を受けた中で、自主防災マップを作り、地域住民で避難方法を話し合っていたことで、住民の命が守られたケースも報道により伝えられています。

庄内町木の沢地区では、住民自らが危険箇所を把握し、身を守る行動を速やかにとれるよう、平成28年度から地域・国・大学で連携して『まるごと里ごとハザードマップ』の作成に取り組んできました。

平成28年度は『まちあるき』を行い、自分の住んでいる所の危険箇所・避難ルート等を確認したことを、地図に書き込みました。『助けが必要な方の対応は？』『夜だったら？』などと具体的に検討しました。

～1回目(7/1)～



この家の人は1人では避難できないから、迎えに行かないと！

山から土砂がこう来るから、避難はこのルートがいいよね

防災無線ってどう使うの？鍵は誰が保管しているの？

大学生からの投げかけ



避難方法について検討しましょう

避難のタイミングと情報伝達について検討しましょう

住民の皆さんで検討



庄内地方では台風による大きな被害がないから、「逃げないと！」がない･･･でも、全国で土砂災害が発生しているから必要だよね！

～2回目(8/5)～

避難訓練スタート！



避難訓練です。避難行動を開始して下さい！

分からなかった防災無線の使用方法もみなさんで確認！



1班の集落



2班の集落



3班の集落

作成したハザードマップ(案)を基に、避難訓練を行いました。実際に行ってみて、たくさんの気づきもあったようです。

避難ルート上に沢がある班は、水が溢れている場合、一旦緊急避難所の神社へ避難！



緊急避難所
白山神社

それぞれの住宅から班ごとに一旦集合し、避難所へ！

避難所へ全員避難完了



広域避難所：立谷沢公民館



こんなにあるんだ揃っているんだね

避難所の備蓄品も確認しました

避難訓練を通して新たに見えてきたこと

〈地域住民のみなさん〉

- 他の班に居る時もあるので、地区全体の避難ルートの確認が必要。
- 土石流か地すべりかで危険な場所が違うので、避難ルートに注意が必要。

〈大学生からのアドバイス〉

- 避難所に来ない方には、健康な方1人で迎えに行ってもらいたい。
- 危険がないかしっかり確認してから安全に避難して頂きたい。

～3回目(9/16)～

みなさんで作成したハザードマップの確認と、避難の誘導看板の位置確認を行いました。

避難誘導看板



積雪で隠れないように、180㎝位がいいね



電柱に取り付ける位置はどうでしょう？

最終チェック



両面印刷だと裏が見にくいね。2枚がいいね



ここ裏道だから通らないよね？こっちにしよう



どちらのデザインが見やすいですか？



遠くからも見やすいデザインがいいね

庄内町役場さんからのお言葉



自らを守る「自助」・地域で助け合う「共助」をしないと、行政の「公助」は受けられないので、自分の身は自分で守る事が大切です。



おまけ･･･

行政区長さん始め、地域の方より、「炊き出しの練習も兼ねて」とのことで、そば打ち体験＆会食も！



＊みなさんと作成しました、別紙の『まるごと里ごとハザードマップ』をぜひご覧下さい。

庄内町木の沢地区まるごと里ごとハザードマップ



避難の考え方

1. 危険を感じたら早めに避難
   台風が近づいてくる等、大雨が予想される場合には図中の避難経路（➡）を通って、立谷沢公民館（広域避難場所）に避難しましょう。
   ただし、夜逃沢から南（左岸）に住んでいる方は、夜逃沢橋を渡ることが危険だと感じた場合、図中の避難経路（➡）を通って、白山神社（緊急避難場所）に避難しましょう。
   避難する時には班長にも連絡しましょう。また、要配慮者に対して、各班で支え助け合い、支援を行いましょう。
2. 沢や側溝の水が溢れているのを見たら
   班長に連絡しましょう。
3. サイレンが鳴ったら
   最寄りの白山神社（緊急避難場所）※ または
   立谷沢公民館（広域避難場所）に避難しましょう。
4. 屋外への避難が難しいと感じたら
   家の中の、崖から遠い部屋（あれば2階）へ移動しましょう。

○避難準備・高齢者等避難開始が出されたら
□避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。
□その他の人は、避難の準備を整えましょう。

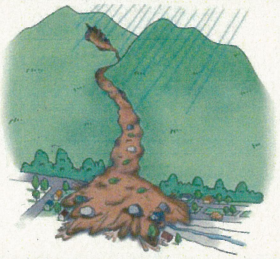
○避難勧告が出されたら
□速やかに避難場所へ避難をしましょう。
□外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

○避難指示（緊急）が出されたら
□まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
□外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

木の沢地区で注意すべき土砂災害

土石流

土石流は、大雨によって山の斜面が崩れ、その土砂が川底にあった土砂とともに、水と一緒になって、ものすごい勢いで流れてくる現象です。

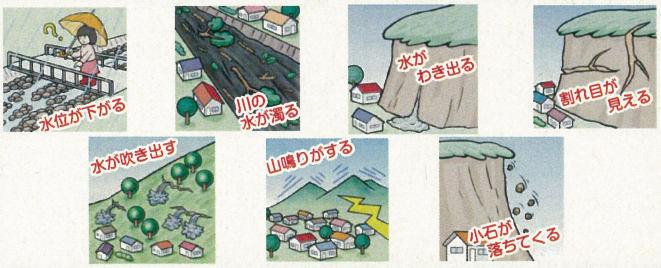


がけ崩れ

急な斜面（がけ）が崩れることを、がけ崩れといいます。主に、雨水などの水が土の中に大量にしみ込むことによって起こります。



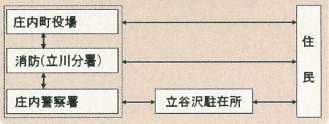
土砂災害の前兆現象　見かけたらすぐに連絡！



緊急時の情報連絡

情報連絡の流れ

住民と行政の伝達経路



行政から住民への伝達手段

- 防災行政無線
- 町ホームページ
- 広報車
- 消防車

区長・班長連絡先		
	氏名	連絡先
区長		
上班(1班)		
中班(2班)		
下班(2班)		
西班(3班)		

◆土砂災害の前兆に気づいたら　班員 ⇒ 班長 ⇒ 区長

◆区長から班員への避難行動の連絡　区長 ⇒ 班長 ⇒ 班員

公的機関連絡先

庄内町役場	0234-43-2211(代表)
山形県庄内総合支庁	0235-66-2111(代表)
国土交通省新庄河川事務所	0233-22-0251(代表)
国土交通省新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所	0234-56-2050
庄内警察署 立谷沢駐在所	0234-59-2004
酒田地区広域行政組合消防署 立川分署	0234-56-2110

災害伝言板

気象や避難に関する情報

気象に関する情報

○気象情報

気象庁では、大雨などにより災害が発生するおそれがある時に、注意報や警報が発表されます。

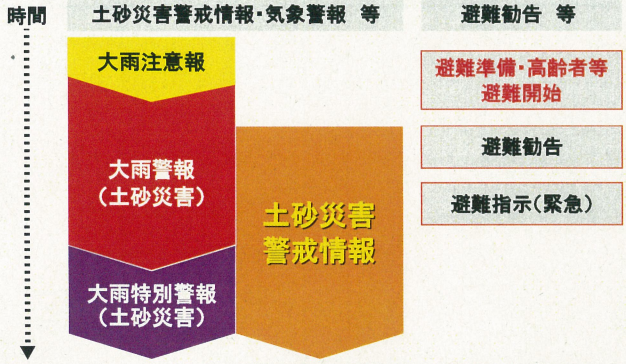
※土砂災害警戒情報：大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で土砂災害発生の危険がさらに高まった時に発表されます。

避難に関する情報

○避難に関する情報

庄内町では、気象情報などをふまえて避難勧告等を発令します。

気象情報と避難に関する情報の例



※自分で危険を感じたら「自主的に避難」を行いましょう。

データ放送を通じて気象に関する情報を確認することができます。



ⓓデータ放送

地上デジタルテレビのリモコンにある「d」「データ」などと表記されたボタンを押すと、気象情報や災害情報を見ることができます。

避難に備えて

非常持ち出し用品の準備

いざという時にすみやかに避難できるように、非常持ち出し用品を防災袋に入れて常備しましょう。避難先で困らないように、眼鏡や持病の薬など、自分には必要で、入手が簡単ではないものを用意しておくことが大切です。

特に冬期は防寒用品を忘れないようにしましょう。

【ラジオ】予備の電池も忘れずに。
【非常食品】火を通さないで食べられるもの。ミネラルウォーターなど。
【救急薬品】持病のある人は常備薬も忘れずに。
【貴重品】
【懐中電灯】予備の電池も忘れずに。
【その他】下着、上着、レインコート、タオル、ライター、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、カイロ、ラップ、軍手、生理用品、ヘルメットなど。



避難時の心得

●要配慮者の避難にご協力を

要配慮者（高齢者、障害者、病気やけがをしている方）は早めの避難が必要です。隣近所の要配慮者の避難にご協力ください。

●動きやすい格好、二人以上での避難

避難するときは、隣近所の方と声をかけ合って避難しましょう。また、浸水している場所では道路や側溝などの境目がわかりにくいため、杖などで安全を確認しながら歩きましょう。

